

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	2	必修
担当教員			
須谷 和子			
火1、火2			
添付ファイル			

科目の概要	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育として、妊娠・授乳期、乳幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期、障がい者への栄養教育の特徴、栄養教育の目標や方法について学ぶ。
授業の内容	<p>第1回 栄養教育論Ⅰ・Ⅱの振り返り 授業の進め方・評価等について説明 キーワードの復習</p> <p>第2回 妊娠・授乳期を対象とする栄養教育① 妊娠・授乳期の栄養教育の特性と留意事項</p> <p>第3回 妊娠・授乳期を対象とする栄養教育② 母性の育成と栄養教育について学ぶ</p> <p>第4回 妊娠・授乳期を対象とする栄養教育③ 妊娠・授乳期の栄養教育のためのアセスメントを学ぶ</p> <p>第5回 妊娠・授乳期を対象とする栄養教育④ 妊娠・授乳期の栄養教育のためのアセスメントを理解し、栄養教育案を立てる</p> <p>第6回 乳幼児期を対象とする栄養教育① 乳幼児期の栄養教育の特性と留意事項</p> <p>第7回 乳幼児期を対象とする栄養教育② 乳幼児の食事、生活リズムの形成、味覚・嗜好の形成と栄養教育について学ぶ</p> <p>第8回 乳幼児期を対象とする栄養教育③ 乳幼児期の栄養教育のためのアセスメントを理解し、栄養教育案を立てる</p> <p>第9回 学童期・思春期を対象とする栄養教育① 学童期・思春期の栄養教育の特性と留意事項</p> <p>第10回 学童期・思春期を対象とする栄養教育② 学童期・思春期の栄養教育のためのアセスメントを理解し、学校における食に関する指導（食育）推進への理解を深める</p> <p>第11回 学童期・思春期を対象とする栄養教育③ 学童期・思春期の栄養教育案を立てる</p> <p>第12回 成人期を対象とする栄養教育① 成人期の栄養教育の特性と留意事項</p> <p>第13回 成人期を対象とする栄養教育② 成人期の栄養教育案を立てる</p> <p>第14回 高齢期を対象とする栄養教育 高齢期の栄養教育の特性と留意事項をふまえて、栄養教育案を立てる</p> <p>第15回 障がい者を対象とする栄養教育 障がい者の特性と留意事項をふまえて、栄養教育案を立てる</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	栄養教育論Ⅰ、Ⅱで学んだことをベースに、個人及び集団の健康・栄養状態・食行動・食環境などに関する情報収集と分析を行う。それらを総合的に評価・判定することができるようになることを目的とする。対象に応じた栄養教育のプログラムを作成し、実践、評価を行い、総合的なマネジメントに発展させることができるようになる。
授業の方法	授業開始前に、管理栄養士国家試験の過去問題より作成した練習問題を解きながら栄養教育論Ⅰ、Ⅱの復習を行う。授業では、対象となるライフステージ別の内容をまとめて講義する。栄養教育プログラム作成時には、グループワークやディスカッションをすることがある。
成績評価の方法	定期試験（80%） レポート（10%） 授業への参加態度（10%）
教科書・テキスト	栄養教育論Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト 随時プリントを配布する。
参考書	授業時に指示する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	事前学習：栄養教育論Ⅰ・Ⅱの復習 事後学習：栄養教育案の作成など、課題、グループワークとして評価するため 授業時間外で課題を調べたり、パワーポイント作成を通して学習目標の到達を目指す

履修上の留意事項	
オフィスアワー	水曜日 2時間目
実務経験	管理栄養士
その他	